

## 関西医科大学 整形外科教室

齋藤 貴徳 教授

### 【医局紹介】

当教室は1956年4月に初代教授である森益太教授により開講し、二代目の小川亮恵教授、三代目の飯田寛和教授、そして2017年4月より齋藤貴徳教授に受け継がれてきました。現在大学病院は附属病院、総合医療センター（旧滝井病院）、香里病院、くずは病院の4つが存在するため、本院である附属病院の医局員は18人と規模が大きな教室とはいえませんが、その分研修医に対してキメ細かく、丁寧な指導を行うことが可能であり、毎年5人程度の入局者がいます。

当教室の主な診療領域は、脊椎外科・股関節外科・膝関節外科・手の外科・スポーツ・救命救急（重度四肢骨盤外傷）など多岐にわたり、各専門分野を学ぶことができます。また、各分野とも国内における指導的立場の施設であり、国内外から多数の手術見学があるため、指導医は皆教育熱心で非常に学びやすい環境といえます。

医局の気風はオープンであり、医局員の出身大学もさまざま、近年はクラブ活動（野球、サッカー、バスケットボール、ゴルフなど）も活発に行い、和気あいあいとした雰囲気です。

### 【研修プログラムの特徴】

整形外科学は、運動器の機能や形態の維持・再建を目指す科であり、幅広い領域を扱います。関西医科大学整形外科専門研修プログラムでは、あらゆる運動器に関



### DATA

#### 関西医科大学 整形外科教室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

<http://www7.kmu.ac.jp/kansai-ortho/>

[kubotam@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kubotam@hirakata.kmu.ac.jp)

構成：医局員数／18人、指導医数／14人、研修医数／2人

する科学的知識と社会的倫理観を備えることを目標とし、基本的な臨床能力だけでなく新しい知識と技能の習得を目指しています。

関連病院は、附属病院を基幹として15施設あり（2017年度の手術総数は7174件です）、3年9ヶ月で基本的な診察および手術を習得して偏りがないように症例を経験することに配慮しています。さらに、学会発表および学術論文も作成し、研修後は「日本整形外科学会専門医」を取得します。もちろん、本人の希望により、国際学会における発表や海外留学の機会もあります。

当教室で開催している研修会も多く、春季・秋季セミナー、北河内整形外科セミナー、脊椎モニタリングセミナー、セメント人工股関節セミナーなどあり、さらなる知識・技能をアップデートし、プライマリ・ケアから最先端の治療まで学ぶことが可能です。

また、当教室には複数の女性医師が在籍しており、女性医師の入局も歓迎しています。子育てをしながら仕事を続けることを理解し、バックアップする体制を整えています。

### 【研修医へのメッセージ】

整形外科学は非常に奥が深く、面白い分野です。手術は一見すると大工さんのような仕事に映るかもしれませんが、「Scienceに基づいたArt」が必要であり、「機能再建」の喜びを医療側・患者側ともに実感することができます。また、人間の「再生能力」に感動することもあります。

本学の建学の精神である「慈仁心鏡」にのっとり、臨床・研究・教育のバランスの取れた医療人の育成を目指していますので、私たちと共に整形外科専門医の道を歩んでいきましょう。

文責：おおえ賢一

